



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月3日

上場会社名 株式会社シグマクス 上場取引所 東  
 コード番号 6088 URL <https://www.sigmaxyz.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富村 隆一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 田端 信也 TEL 03(6430)3400  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,366	△11.5	152	△50.6	163	△45.1	87	△46.0
2020年3月期第1四半期	3,804	29.1	309	141.9	297	66.2	161	60.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 87百万円 (△46.0%) 2020年3月期第1四半期 161百万円 (60.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	4.53	4.53
2020年3月期第1四半期	8.33	8.29

(参考) 税金等調整前四半期純利益 2021年3月期第1四半期 309百万円 (4.1%)  
 2020年3月期第1四半期 297百万円 (80.2%)

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	9,253	4,732	51.1	246.45
2020年3月期	9,669	5,036	52.1	263.82

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 4,732百万円 2020年3月期 5,036百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	0.00	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		税金等調整前 当期純利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500 ～15,500	△9.4 ～△3.1	—	—	1,750 ～2,350	△19.6 ～8.0	1,050 ～1,520	△25.4 ～8.0	54.68 ～79.16

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 連結業績予想につきましては、2020年8月3日に公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	21,068,300株	2020年3月期	21,068,300株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,865,734株	2020年3月期	1,977,334株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	19,197,967株	2020年3月期1Q	19,360,167株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託（J-ESOP）制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有している当社株式及び業績連動型株式報酬制度の信託財産として、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）が所有している当社株式を含めております。なお、2020年7月27日付で資産管理サービス信託銀行株式会社、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社及びJTCホールディングス株式会社が存続会社を日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社とする吸収合併を行い、統合会社の商号が「株式会社日本カストディ銀行」となっております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付書類3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、また、今後も国内外の経済に与える影響に十分注意する必要があります。企業は、危機下での事業継続や社員の安全確保を前提としながら、激しく変化する社会・経済環境における経営のあり方そのものの見直しを強く迫られています。

このような環境の中、当社グループは、企業のデジタル・トランスフォーメーションの支援、イノベーション創発などの事業を推進しております。当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面の顧客訪問の自粛、当社クライアント企業における新規プロジェクトの立ち上げの遅れなどが発生し、受注の遅延が見られるものの、厳格なセキュリティポリシーのデジタルワークプレイス環境を最大活用し、リモートワークで安定したデリバリーを継続いたしました。

当第1四半期連結累計期間の業績並びに経営指標の状況は以下のとおりです。

売上高につきましては、ERPクラウド化サービスの伸長が見られるものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けている航空業界向けのコンサルティングサービスや、小売業界向けコールセンター案件におけるハードウェア製品やソフトウェア製品の調達代行のプロダクトセールスが減少したことにより減収となり、3,366,133千円（前年同四半期比11.5%減）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、新型コロナウイルス感染症対策関連経費、採用に伴う人件費等関連経費の増加、ソリューション開発及び生産性向上のための投資により、1,147,794千円（前年同四半期比9.1%増）となりました。

営業利益は152,886千円（前年同四半期比50.6%減）となり、経常利益につきましては、前年同四半期比45.1%減の163,397千円となりました。

特別利益につきましては、4月に株式会社ローソンデジタルイノベーションの株式の持分を全て株式会社ローソンに売却したことにより146,373千円発生しました。同社はローソン事業のデジタル化推進などを目的として2016年に設立した合弁会社であり、所期の目的を達成したため株式を売却いたしました。

法人税等合計は、評価性引当金の増加により前年同四半期比63.4%増の222,728千円となりました。

税金等調整前四半期純利益は309,771千円（前年同四半期比4.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同四半期比46.0%減の87,042千円となりました。なお、税効果考慮前の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比0.5%減の179,921千円となります。

人財採用につきましては、当第1四半期連結累計期間において経験者13名、新卒48名が入社しました。その結果、564名（前年同四半期比25名増）の組織規模となっております。新卒社員の研修は完全リモートワーク環境の中で順調に進んでおり、10月から稼働を開始する予定です。

プロジェクト満足度は94ポイント（前年同四半期比1ポイント減）と高い水準を維持しています。

#### (新型コロナウイルス感染症への実施策)

##### 1. リモートワークの活用

リモートワークを活用しながら安定的な事業運営を行っております。

##### 2. 安全・衛生管理

国内外出張の原則禁止、私用の国内外旅行の自粛、オフィスの定期的な消毒、社員の検温とマスク着用の徹底などの施策を行っております。

##### 3. 国・地方公共団体のガイドラインの遵守

社員の外出などについて、国・地方公共団体から出されるガイドラインに準拠して行動することを徹底しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は9,253,432千円(前連結会計年度末比415,940千円減)となりました。これは主に、現金及び預金の増加(前連結会計年度末比376,754千円増)、売掛金の減少(前連結会計年度末比520,485千円減)、投資有価証券の減少(前連結会計年度末比262,071千円減)によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は4,520,927千円(前連結会計年度末比111,864千円減)となりました。これは主に、短期借入金の増加(前連結会計年度末比600,000千円増)、未払法人税等の減少(前連結会計年度末比515,170千円減)によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は4,732,505千円(前連結会計年度末比304,076千円減)となりました。これは主に、配当金の支払い453,318千円(前連結会計年度同四半期374,397千円)などの影響による利益剰余金の減少(前連結会計年度末比366,276千円減)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で合理的な算定が困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

詳細につきましては、2020年8月3日に公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,175,567	4,552,322
売掛金	1,912,122	1,391,636
営業投資有価証券	648,433	707,488
その他	233,718	262,977
貸倒引当金	△26,400	-
流動資産合計	6,943,442	6,914,424
固定資産		
有形固定資産	251,110	229,383
無形固定資産		
ソフトウェア	251,150	248,197
ソフトウェア仮勘定	167,389	182,572
その他	6,729	6,537
無形固定資産合計	425,268	437,307
投資その他の資産		
投資有価証券	1,346,620	1,084,549
繰延税金資産	245,443	152,564
その他	457,486	435,202
投資その他の資産合計	2,049,550	1,672,316
固定資産合計	2,725,930	2,339,007
資産合計	9,669,373	9,253,432
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	356,138	291,105
短期借入金	1,200,000	1,800,000
未払金	899,514	572,252
未払法人税等	660,596	145,426
株式給付引当金	193,393	175,763
その他	115,128	142,317
流動負債合計	3,424,770	3,126,865
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
リース債務	16,375	14,893
株式給付引当金	248,312	67,206
役員株式給付引当金	556,888	925,517
資産除去債務	86,444	86,444
固定負債合計	1,208,021	1,394,061
負債合計	4,632,791	4,520,927
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,842,098	2,842,098
資本剰余金	1,108,045	1,125,751
利益剰余金	3,181,923	2,815,646
自己株式	△2,095,486	△2,050,992
株主資本合計	5,036,581	4,732,505
純資産合計	5,036,581	4,732,505
負債純資産合計	9,669,373	9,253,432

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	3,804,470	3,366,133
売上原価	2,443,442	2,065,452
売上総利益	1,361,027	1,300,681
販売費及び一般管理費	1,051,686	1,147,794
営業利益	309,340	152,886
営業外収益		
受取利息	1,194	1,623
受取配当金	15,674	-
持分法による投資利益	-	2,655
有価証券運用益	3,281	4,837
その他	2,570	2,323
営業外収益合計	22,721	11,440
営業外費用		
支払利息	137	889
持分法による投資損失	32,202	-
その他	2,241	39
営業外費用合計	34,580	929
経常利益	297,481	163,397
特別利益		
関係会社株式売却益	-	146,373
特別利益合計	-	146,373
税金等調整前四半期純利益	297,481	309,771
法人税、住民税及び事業税	116,715	129,849
法人税等調整額	19,576	92,879
法人税等合計	136,292	222,728
四半期純利益	161,188	87,042
親会社株主に帰属する四半期純利益	161,188	87,042

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	161,188	87,042
四半期包括利益	161,188	87,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,188	87,042

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月7日 取締役会決議	普通株式	374,397	18	2019年3月31日	2019年6月10日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式に対する配当金27,813千円が含まれています。

## 2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月7日 取締役会決議	普通株式	453,318	22	2020年3月31日	2020年6月8日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式に対する配当金33,317千円が含まれています。

## 2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、コンサルティング業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。